

## 国保

### 減免承認通知書が

届きました♪

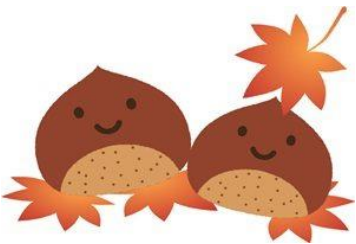
コロナ感染症のため、売上が昨年より大幅に減少した直江津料飲支部のAさんは、自分に該当する国・県・市の助成金制度を使い商売を継続していくために日夜奮闘しています。

「今年は売上が減少しているのに、昨年の所得で支払う国保や介護保険が大変」と思っている矢先、8月に民商の「国保減免学習会」を知り参加しました。自分にも該当することが分かり、早々に資料をそろえて学習会に参加。その足で市役所にも行きました。窓口ではよく話を聞いてくれて、申請を受け付けてくれました。

約一ヶ月後、「減免承認通知書」が自宅に届き、「これで少しは安心して商売が続けられる」とホッとしています。

Aさんは今度、「家賃支援金」の手続きに挑戦しています。

※国や各自自治体の支援金制度は多々ありますが、今回のような市税等の減免制度は、特に、結果の連絡が民商にこないケースが目立ちます。民商でサポートを受け市役所に向いた結果はとても大事ですし民商としても心配ですので、ダメだったら「ダメだったのか、上手くいったならその旨も民商へ滞りなく連絡ください。」



## 10月の

### 『コロナ相談会』の

#### お知らせ

国の「持続化給付金」「家賃支援給付金」国保や市税等の減免などの相談会を10月も行います。※予約制

10月12日(月)

午後1時半〜 3名

午後2時半〜 3名

※なお、日程の都合がつかない方は遠慮なく民商へご連絡ください。

## 共済会・秋の

### 『健康ウォーク』

#### 中止のお知らせ

毎年共済会員さんが開催を楽しみにしている秋恒例の「健康ウォーク」ですが、コロナウイルス感染防止の観点から今年の開催は中止することになりました。

残念ですが、来年の秋にはコロナも終息しているかもしれません。その際には是非ともご参加ください。



## 婦人部、秋の総会に向けて

### 役員会開催

日本の婦人は忙しいのに、その上、コロナ禍ということもあり、婦人部の集まりも頻繁には持てない状況が続いています。それでも今回の役員会には3名が集い、秋の総会(県婦協総会10/18、全婦協総会10/25)に向けて色々話し合われました。

役員会の前段では、たまたま居合わせた岩澤会長から「首相が菅首相に代わっても悪政が引き継がれて、中々菅々しくとはいきませんが…」とダジャレ交じりの挨拶があり笑いが起こりましたが、「コロナで大変でしょうが、支援金サポートなど周りの方に声掛けして、仲間増やしに繋がっていきましよう」と激励の挨拶をいただきました。新型コロナウイルスの影響で暫く延期になっていた総会は、例年よりも縮小化しながら、やつと10月に開催されることが決まりました。代議員を決めたり今後の行事や誕生日プレゼントを決めたり、部員拡大や役員体制なども話し合われました。

## 共済会

### 『大腸がん検診』実施の

#### お知らせ

共済会では毎年12月上旬に『大腸がん検診』を実施しています



## 私たちの民商②

重税に反対する運動のなかで誕生した民商・全商連は、創立当初から中小業者の要求実現のために果敢な運動を展開してきました。

日本の税法は事業主や家族の働き分を経費として認めていません。民商・全商連は「中小業者の自家労賃を認めよ」と一貫して運動しています。1953、54年には事業税撤廃の要求で、多くの業者団体とともに運動して事業主控除を実現し、1960、61年には「自家労賃を認めよ」の運動で白色申告にも専従者控除が実現、青色申告の事業主報酬制度も創設されました。



1962年、納税者の権利を圧迫する国税通則法案が国会に上程されたとき、業者団体や労働者とも力を合わせて運動し、記帳の義務を削除させるなど納税者の権利を守りました。政府の大型間接税の導入計画に対しても、民商・全商連は1979年の秋、450万人分の署名を集め、東京の日本武道館で2万人の国民総決起集会を共同して成功させました。世論の盛り上がりで自民党を総選挙で大敗させ、急浮上していた一般消費税(大型間接税)は作らないとの国会決議を勝ち取りました。 つづく

### 「私たちの民商」より